

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月31日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15120
政策名(章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当部	生涯学習部
基本施策名(節名)	第1節 生涯学習の推進	評価担当課	生涯学習課
施策名	生涯学習活動の支援	課長名	高橋 誠司

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

市民の多様な学習活動を支援するため、幅広い分野の講座内容や施設、指導者に関する情報の収集提供体制の充実に努めるとともに、広範な学習相談に応じることのできる体制の整備を進めています。また、社会教育関係団体の活動の支援や指導者育成等の支援を行い、団体の育成を図るとともに、団体間や地域で活動しているグループとの交流を促進するなど、団体の活性化を目指しています。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		79,690	生涯学習情報システム開発の終了に伴う減(人件費5名、開発費用等93,000千円)
人件費		10,304	
市民一人あたりの事業費	335	135	
合計	206,275	89,994	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

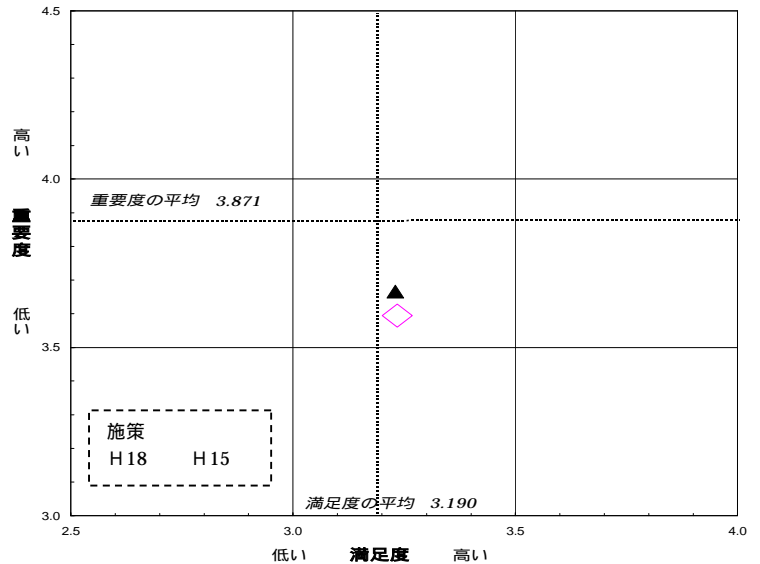
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	生涯学習情報システム情報提供件数	生涯学習情報システムアクセス件数	84,150(件)	H17
指標2	社会教育関係団体事務室利用率(会議室部分)	[利用日数 / 開室日] * 100	87(%)	H17
指標3	学習相談終結率 終結件数 / 実施相談数 * 100	終結件数 / 実施相談件数 * 100	94.4(%)	H14
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	84,150	19	100,000(件)	21	120,000(件)	より多くの市民へ学習活動のきっかけのための情報提供を行なうことが目的のため、目標値としてH18の目標値90,000件として毎年10,000件の増(H21を目途に機能見直し予定)
達成率	84,150					
指標2	87	H19	89(%)	H21	91(%)	H22年度目標値 92(%) 毎年1(%)増
達成率	87.2					
指標3	100	19	100(%)	21	100(%)	学習・教育相談に対して様々な情報の収集等を行い相談に対して終結率100%めざす。
達成率	98.9					
指標4						
達成率			#DIV/0!	%		
指標5						
達成率			#DIV/0!	%		

## 4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.234で51施策の中で18番目。  
 重要度は3.595で41番目である。  
 改善要望度は - 0.2262で43番目である。  
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに60歳代以上で高く、40歳代でもっとも低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、60歳代で前回調査より大幅に上がり、20歳代、70歳以上で下がっている。  
 重要度の順位では、20、30歳代で前回調査より下がっている。



## 5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的な根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	・生涯学習情報の活用について設定した指標目標どおりの成果が達成できなかった。 ・社会教育関係団体に対する補助は、地域に根ざして活動している団体にとって大きな支援になっている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4(2)1	・生涯学習情報システムの効率的な利用により人件費を軽減するなど事業の投入コスト減少できているが、市民の利便性から市ホームページとの連携などが未実施である。 ・指導者の育成に伴い、自主的・主体的な運営が図られている。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	生涯学習の推進については市民の満足度が高く、重要度が低い。	
合計		6	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

## 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	・個人主義的な風潮や地域の連帯の希薄化により、団体の活動が縮小傾向にある。 ・生涯学習情報システムについて市ホームページの充実やインターネットの市民への普及などこのままでは、アクセス数は減少するため、情報提供のあり方、庁内関係各課との相互理解や連携が必要となる。
解決策	・団体の活動のPRや、団体活動が地域に還元されるような場を積極的に作り出していくことが必要である。 ・生涯学習情報システムについて市民の利便性から市ホームページとの連携が必要である。また事務の効率化の視点から情報提供の簡便性、汎用性等を配慮したシステムの見直しを図る。

## 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

今後は、市民意識を確認できるような指標の検討が必要である。	2次評価 B
-------------------------------	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

## 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

生涯学習活動の支援

コード 15120

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
女性グループ育成費	生涯学習課	2	0.09	857	3	0.09	725	81	806
地域婦人団体の育成 地域婦人団体育成費	生涯学習課	1	0.06	947	2	0.06	483	289	772
旧南文化センター活用経費	生涯学習課	4	0.03	23,473	5	0.03	242	42,261	42,503
社会教育関係団体事務室 利用者協議会補助金	生涯学習課	3	0.10	8,098	4	0.10	805	7,333	8,138
施設運営費・情報活用費 生涯学習情報の活用及び 相談事業	総合学習セン ター	1	6.00	172,900	1	1.00	8,050	29,726	37,776
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
	計		6.28	206,275		1.28	10,304	79,690	89,994
	合計		6.28	206,275		1.28	10,304	79,690	89,994

